日本語能力参考資料

Letter of Reference by Japanese Language Instructor

【注	意	Attention]	
X	<u>_ر</u>	の書類は、応募学生の日本語教育を担当している教員が記入してください。	
X	<u>Th</u>	is sheet should be filled out and signed by a Japanese language instructor who presently teache	<u>s</u>
	the	e applicant.	
_	+ ≓	÷夕.	
•	八寸	学名 :	
Ė	学生	E名:	
1	١.	大学での日本語総授業時間	
		(大学入学以来現在まで、応募学生が日本語の授業を何時間受けているか総時間をお書きく	
		ださい。自習時間は含みません。また、大学での日本語学習開始レベルを選択してくださ	
		l' _°)	
		時間 (年ヶ月 週当たり約時間)	
7	大学	学での日本語学習開始レベルは:(入門 ・ 初級 ・ 中級 ・ 中上級以上)	
		※ 大学入学以前の日本語学習経験が全くなかった場合、もしくは大学入学時に極めて限ら	
		れた日本語知識しか有していなかった場合は、入門をお選びください。	
2	<u>2</u> .	大学での使用教科書	
		(応募学生が使用した/している教科書名、出版社名をお書きください。それぞれの教科書の	
		学習を修了したか、学習中であるかも選択してください。)	
		① (学習済・学習中)	
		(1)(字習済 ・ 字習中)	
		②(学習済 · 学習中)	
		(Ұйй Ұйт /	
		③(学習済 ・ 学習中)	
		<u> </u>	
		④ (学習済 ・ 学習中)	
}	×	その他特記すべき使用教材があれば、お書きください。	

⑤ _____(学習済・学習中)

3. 応募学生の習得漢字数 (非漢字圏の応募学生のみ)

1)~			יישרים ארים ארים) 大丁奴で	1 つお選び	(/2000)		
	100字	②~300字	③~800字	4 ~1000	字 ⑤~1	500字 ④	3)1500 =	字以上
4	内首学 /	生の習得語彙数	•					
4.		生が習得してい	•	、証急粉丸	1 つお深バ	/ださい)		
① ~		②~1500 語					<u>(6)100</u>	000 語以上
() -	000 00	Z 1300 ng	<u>Э</u> - 3000 нд	4, 1000		- 10000 ng	© 100	500 品及工
5.	日本語道	重用能力						
(以	下の日本	語運用能力につ	ついて 5 段階割	F定をお願し	いします。)			
			問題	題なくできる	大体できる	少しできる	困難	不可
1	日本語で最	最低限の日常会話	ができる。	5	4	3	2	1
2	身近な話題	題について意見や原	惑想が述べられる。	5	4	3	2	1
3	身近な話題	題について作文を書	書くことができる。	5	4	3	2	1
4	身近な話題	題について書かれた	と文章を理解できる	5 。5	4	3	2	1
5	専門分野の	の基礎的な文献が	理解できる。	5	4	3	2	1
6	専門分野の	の講義が理解できる	5.	5	4	3	2	1
7	専門分野の	のレポートを書くこと	こができる。	5	4	3	2	1
		1メント 日本語能力を表	示す事実・データ	タ等が上記	!以外にあり	ましたら、ま	ききくだ	ごさい。)
			示す事実・デーク	タ等が上記	!以外にあり	ましたら、お	きまくた	ささい。)
			示す事実・データ	タ等が上記	!以外にあり	ましたら、お	S書きくた	ささい。)
			示す事実・デーク	タ等が上記	以外にあり	ましたら、お	S書きくた	ささい。)
			示す事実・データ	タ等が上記	以外にあり	ましたら、お	3書きくた	ささい。)
			示す事実・デーク	夕等が上記	以外にあり	ましたら、お	3書きくた	ささい。)
			示す事実・デーク	タ等が上記	!以外にあり	ましたら、お	3書きくだ	ささい。)
(応]	募学生の	日本語能力を		タ等が上記	以外にあり	ましたら、お	S書きくだ	ささい。)
(応至	募学生の	日本語能力を						ささい。)
(応至	募学生の	日本語能力を			以外にあり			ささい。)
(応:	募学生の	日本語能力を		署名:_				ささい。)